

北前船寄港地・船主集落 岩瀬・伏木地区が「日本遺産」に追加認定

経営企画
委員会
6/4、26

2回開催された経営企画委員会でひづめ県議は、日本遺産と観光、中山間地振興、自治体の非正規職員の処遇改善、教職員の長時間勤務解消などについて取り上げました。その一部を紹介します。

富山県の近代工業化を促した 北前船の歴史

2016年6月に、山形市など11自治体が「北前船寄港地・荷主集落」として日本遺産に認定。ひづめ県議は「岩瀬地区が入っていないのはなぜか」と、県の働きかけを求めてきました。

その後、文化庁に申請がなされ、全国38自治体の「北前船荷主集落」に富山市岩瀬・高岡市伏木地区も追加認定されました。

北前船にもっと光を！ 新湊地区も加えて連携を

北前船が築いた港湾運送の歴史と、蓄積された資本が、富山湾臨海部の近代工業化を促進。富山県は、日本海側屈指の工業県となりました。ひづめ県議は、「世界で最も美しい湾クラ

日本遺産とは

文化庁が2015年から始めた事業。国宝や史跡を個々に指定する事業と違い、複数の文化財が語る地域の歴史や文化などを「ストーリー」として認定するもの。これまでに67件が登録済み。

も美しい湾クラブ」関連事業に、北前船の歴史を位置づけるべきと要望。放生



6/4 経営企画委員会で質問



あいの風とやま鉄道岩瀬浜駅に設置された北前船をアピールした掲示

津潟など、県内で最も古くから海運が栄えた新湊地区も、日本遺産に追加すべきと提案しました。県からも「射水市に働きかけてい

きたい」との答弁がありました。

中山間地域への支援 「地域おこし協力隊」の活用も

総務省・農水省の「地域おこし協力隊」事業。都市地域から中山間地に移住し、最大3年間地域おこしに協力する隊員を募集しています。隊員一人あたり最大400万円を支援し、経費は国が自治体に交付税措置します。

県内で活動する隊員は、12市町で55人（2017年度）です。長野県385人、新潟県165人など近隣のなかでも、まだ少数です。ひづめ県議は、県からの積極的支援を求めました。

「会計年度任期職員」 自治体の非正規職員の 処遇改善を

正規職員の大幅削減に伴い、県内自治体でも非正規職員が増加しています。

全国に約65万人
県内市町村に5,931人

県内の臨時・非常勤職員は、県一般職員963人、県教職員1,938人（H29年度）。市町村職員を見ると、正規職員12,1

82人に対し、臨時・非常勤職員は5,931人（H28年度・任期6か月以上、勤務時間週19時間25分以上）にも及びます。本来、正規職員が担うべき仕事の多くも、臨時職員が担っています。

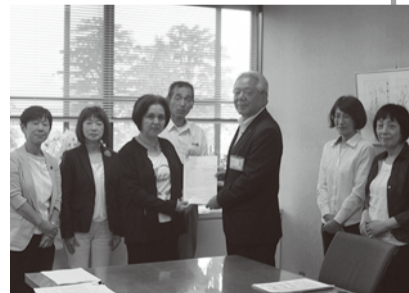
2020年度からの制度変更 労働組合と十分な協議を

こうした実態を無視できなくなった国が、昨年5月地方公務員法と地方自治法を改正。様々な雇用形態にあった自治体の臨時職員の多くを、2020年4月から「会計年度任用職員」として一本化することになりました。任期は最長1年です。

ひづめ県議は、①これを機に必要な職員を正規化する、②期末手当支給など処遇改善を進め、待遇引き下げは行わない、③国に待遇改善のための財源確保責任を持つよう要望する、④対象者に制度を周知し、労働組合と丁寧に協議する、などを求めました。

16年ぶりに 県立学校の図書館司書 正規職員として1人採用

県立高校の図書館司書の採用試験が中断して15年。正規雇用の司書が22人から7人にまで減少したこと指摘し、関係者とともに改善を求めてきたひづめ県議。



6/4「図書館を考える会」のみなさんが渋谷県教育長に要望書を提出。

果、今年には正規職員の学校司書1人が、16年ぶりに採用されました。

改善を求める「請願」 県議会が全会一致で採択

2016年2月県議会では、「専任・専門・正規の学校司書配置に関する請願書」（県高教組提出、紹介議員はひづめ県議など3人）が、全会一致で採択されました。その結

さらなる処遇改善と 学校図書館の充実を

しかし、改善はわずかです。学校図書館の役割はますます重要となっており、県と市町村の努力がいつそう求められています。

県政課題 に全力

6月議会前後にも、ひづめ県議は様々な県政課題に取り組んできました。
5/17、18 地域の要望実現めざし
県庁の各課と交渉



県内の日本共産党地方議員は現在20人。自民党に次ぐ第2党です。今年度予算編成を受けて、地域の要望の実現めざして交渉を行いました。

5/25 立山黒部ブランド化 地元・立山のみなさんと「考える会」



石井知事が推進する「立山黒部国際ブランド化」。28項目の事業のなかの、ロープウエー建設や立山黒部アルペンルート早期開業などには反対の声があがっています。立山町芦峠寺で「考える会」が開かれました。

6/3 富山市議団と共催で 「介護フォーラム」

大阪社会福祉推進協議会の日下部雅樹氏が、「介護現場は今、制度変更でどう変わる」と題して記念講演。富山市長寿福祉課長さん、認知症の人と家族の



会など、現場からの報告もありました。

第19回とやま学童ほいく交流会



6/24 第16回とやま学童ほいく 交流会

学童保育指導員や保護者ら、約50人が参加。県厚生部児童青年家庭課からも「県内の学童保育の現状と課題」について報告がありました。ひづめ県議も激励のあいさつをしました。